

令和元年 第1回鹿嶋市議会臨時会 市長挨拶・所信（要旨）

令和元年5月15日

おはようございます。

本日ここに、令和元年第1回鹿嶋市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ともにご多用中にもかかわらず、ご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、去る4月21日に執行されました鹿嶋市議会議員一般選挙において、市民の厚い信頼と期待を担われ、めでたくご当選の栄を得られましたことを心からお喜び申し上げます。ここに執行部を代表いたしまして、そして6万7千余の市民を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

今回の選挙で、期数を積み重ねられました経験豊富な議員の皆様、そして、このたび初当選されました舛井議員、お一人お一人それぞれの思いと決意を胸に本日の初議会に臨まれたことと推察いたします。また、篠塚議長、並びに山口副議長におかれましては、鹿嶋市議会の第9代議長・副議長へのご就任、誠におめでとうございます。篠塚議長による新体制の下、議会と執行部がこれまでも増して、それぞれの立場から真摯な議論を尽くしながら切磋琢磨し、さらなる市民の福祉の向上と市の発展を実現していくため、格別のご指導・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、5月1日に、元号が「平成」から「令和」になりました。「令和」は、外国向けには、『Beautiful Harmony（ビューティフル ハーモニー）＝美しい調和』と説明されています。私も就任6年目を迎えましたが、常に就任当初の気持ちを忘れることなく、議会の皆様と、そして市民の皆様と共に、美しい調和を保ちながら、市政発展に全力を尽くしてまいり所存であります。

ここで、直近の市政運営につきまして、簡単にご報告申し上げます。

まず、4月から実施いたしました市役所組織の見直しです。

多様化する教育・保育ニーズに対し、質の高い幼児教育・保育を推進するため、健康福祉部で行っていた認定こども園・保育園に関する事務と教育委員会事務局で行っていた幼稚園に関する事務を統合し、新たに教育委員会事務局内に幼児教育課を新設いたしました。

私は、かねてより、人づくりは早いうちから行うことが望ましいと考えておりました。「三つ子の魂百まで」ということわざがありますが、幼児期の取組みが、いかに重要であるかということは、あらためて言うまでもありません。今回の組織改編により、保育園・幼稚園を問わず、より効果的な支援が可能となるものと考えており、様々な施策を通じた鹿嶋っ子支援のさらなる充実に努めてまいります。

ご案内のとおり、鹿嶋市では『子育てするなら鹿嶋市で！』をキャッチフレーズに、結婚・妊娠・出産・子育てと、切れ目のない子育て支援施策の展開を図っております。

国の「子ども・子育て支援新制度」では、「幼児期の学校教育や保育，地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める」としており，10月からの幼児教育無償化を盛り込んだ「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」が今月に入って成立いたしました。今回の事務統合が，それらの効果的な運用，体制の強化につながるものと考えるところです。「地域の宝」である子どもたちの健全な育ちを支援するため，多様化する教育・保育ニーズを的確に把握し，再び待機児童ゼロの実現に向けて，幼児教育・保育の質と量の確保に取り組んでまいります。

次に、「いきいき茨城ゆめ国体2019」，そして「東京2020オリンピック競技大会」への取組みです。

国体に関しましては，昨年10月にリハーサル大会の位置付けで全国社会人サッカー選手権大会を開催し，大会運営上の課題とその対策を確認したところです。茨城県や県サッカー協会などの関係団体と綿密な最終調整を図り，本年9月から10月にかけて開かれる「いきいき茨城ゆめ国体2019」に臨んでまいります。

オリンピックにつきましては，昨年5月に鹿嶋市推進協議会を設立し，「機運醸成・おもてなし部会」と「ボランティア部会」を設置し，機運醸成事業の実施並びにボランティア募集の準備を図ってまいりました。また，市議会におかれましても，東京2020オリンピック推進調査特別委員会で議論いただき，提言書も頂戴したところです。本年度は，大会組織委員会や茨城県などとの協議・調整，PR事業に

よる機運醸成などをさらに進めていくとともに、おもてなし・レガシー事業の選定及びその準備を行ってまいります。

このような大規模な大会に関しましては、様々な部門で皆様のお力添えが必要です。現在、国体に向けた花いっぱい運動ボランティア、またオリンピック鹿嶋市ボランティアの募集を行っておりますが、行政と関係団体、市民の皆様の総力を上げて心のこもったおもてなしを行い、記憶に残る素晴らしい大会にしたいと準備を進めております。引き続き、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

続きまして、宮中賑わい創出事業に関する取組みについてであります。

宮中地区の商業機能の衰退を危惧する中、鹿島神宮という全国に誇れる観光資源を活用した中心市街地の活性化策として本事業に取り組み始め、その関連事業として計画した交流館等複合施設の整備につきましては、3月定例会の最終日に、「前向きに取り組んでまいりたいものの、地権者等の個別具体的な意見を確認し、事業の実現可能性について検証を行ったうえで、なるべく早い時期に最終的な判断をくだしてまいりたい」とお伝えしたところです。

この間、権利関係者から様々なご意見を伺ってまいりましたが、私といたしましては、事業の実現可能性が十分にあると受け止めたところです。

また、鹿嶋の顔である鹿島神宮周辺の活性化は長年の課題であり、その解決のために、平成29年度に市民や関係団体・関係事業者の代表を委員とした鹿嶋市中心市街地活性化検討委員会を設置し、3つの部会で貴重なご意見をいただきながら、中心市街地活性化基本計画の策定を進めてまいりました。

市議会におきましても、宮中賑わい創出事業検討協議会で何度も協議をしていただき、今年2月には様々なご意見を取りまとめた意見書も頂戴いたしました。

それらのご意見も踏まえ、検討委員会では事業の推進について、全会一致で了承いただいたところです。

その結果、最終的な判断としては、鹿島神宮周辺地区の活性化を促進させるためには、核となる施設があった方が良くとの考えの下、活性化を推進する施策の一つとして、中心市街地活性化基本計画に複合施設の整備を位置付けていくことといたしました。

施設整備の是非についてはばかりが話題とされてきましたが、「鹿島神宮周辺地区をこのまま放置するのではなく、どのように活性化していくことが良いのか」という

視点で、活性化基本計画の案をご覧いただければと思います。

その活性化基本計画の案につきましては、6月10日からパブリックコメントを実施する予定であり、そこで、市民や事業者からも広くご意見をいただき、成案としていきたいと考えております。

以上、直近の市政運営の状況、並びに私の考えにつきまして、一部ではございますが、その概要を述べさせていただきました。来月、招集させていただきます第2回市議会定例会におきまして、市政運営に関する所信をあらためて述べさせていただきますと考えております。

次に、本臨時会に付議します案件は、報告案件が3件であります。詳細につきましては、後程ご説明申し上げますので、よろしくお願いいたします。

結びになりますが、議員各位におかれましては、ますますご健勝でご活躍くださいますよう祈念申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。